

平成29年度 東播磨地域稲作気象台情報 第2号

発行：平成29年8月3日
東播磨農業改良普及事業協議会

1. 気象状況

梅雨入り後、6月中旬はほとんど降雨がありませんでした。梅雨明けは7月19日頃で、昨年より1日遅く、平年より2日早くなりました。梅雨明け後、平年よりも気温は高く、降水量は少なくなっています。

2. 生育状況

県立農林水産技術総合センター（加西市）の気象感応調査結果（7月25日現在）

品種	草丈	茎数	主稈葉数
キヌヒカリ	82cm（平年比99%）	361本/m ² （平年比97%）	12.6枚（平年差0.0）
ヒノヒカリ	61cm（平年比98%）	541本/m ² （平年比124%）	12.5枚（平年差+0.6）

3. 病虫害発生予察調査結果（8月1日 定点19ヶ所調査）

（1）病害の発生状況

- ・いもち病： 加古川市北部で中発生あり、明石地区では今の所、発生なし
- ・紋枯病： 加古川市北部で少発生あり、明石地区では今の所、発生なし
- ・縞葉枯病： } 発生なし
- ・ばか苗病： }

（2）虫害の発生状況

- ・ヒメトビウンカ： } 低密度ですが、多くのほ場で発生あり
- ・セジロウンカ： }
- ・トビイロウンカ： 発生なし
- ・ツマグロヨコバイ： 密度は低いですが、発生あり
- ・斑点米カメムシ類： 稲美町、加古川市北部で要防除密度、明石地区では今の所、発生なし
- ・フタオビコヤガ： } 発生なし
- ・イネツトムシ： }
- ・コブノメイガ： }

4. 今後の管理

（1）水管理・施肥管理

<キヌヒカリ・コシヒカリ・あきたこまち>

出穂期を迎えています。出穂時は湛水状態にし、出穂後は間断灌水（田面に水がなくなれば水を入れる）を実施して、根を健全に保ちましょう。

<ヒノヒカリ>

中干しを終え入水する時期です。中干し期に発生した新しい根を湛水状態に馴らし、丈夫で活力のある根を維持するため、間断灌水を実施しましょう。

また穂肥は、幼穂の確認や葉色・葉鞘のヨード反応等による生育診断に基づく、適期適量施用に努めましょう。

(2) 病虫害防除

＜いもち病＞

一部の地域でいもち病の発生が確認されました。今後の天候によっては、未発生のは場でも発生することがあります。特に葉色の濃い箇所や日当りの悪い箇所は、葉いもちの上位葉への進展により、穂いもちの発生も懸念されます。普通期水稻では、出穂前にいもち病が目立ってくるがあるので、穂肥前に発生していないか水田内に入ってよく観察しましょう。発生ほ場では、発生状況により穂肥の量を減らす、穂肥をやらないなどの対策を実施しましょう。また、多発している場合は、出穂前に治療効果の高い薬剤で防除しましょう。

＜紋枯病＞

今後、気温の高い日が続くと、紋枯病が拡がりやすくなります。昨年多発したほ場や過繁茂の水田では、特に注意が必要です。

＜縞葉枯病・ヒメトビウンカ＞

近年、ヒメトビウンカがウイルスを媒介する縞葉枯病の増加が問題となっています。出すくみ症状やゆうれい症状のある感染株を発見した場合は、株ごと抜き取りほ場の外に持ち出し処分しましょう。また、縞葉枯病の発生ほ場では注意深く観察を継続し、ヒメトビウンカを低密度に抑えるよう必要に応じ出穂前に防除を実施しましょう。

＜ウンカ・ヨコバイ類＞

トビイロウンカの発生は確認されませんでしたでしたが、梅雨前線に乗ってセジロウンカと共に飛来している可能性があります。成熟期の遅いヒノヒカリなどでは、トビイロウンカの発生・増殖が収量・品質を大きく左右するので、出穂前の基幹防除は必ず実施しましょう。

＜斑点米カメムシ類＞

ほ場の中や畔草で発生が確認され、要防除密度となっている地域があります。出穂前の畦畔等の除草と出穂後の薬剤防除を徹底しましょう。今後も気温の高い日が続くと、カメムシ類が多発し、斑点米の多発生も懸念されるので注意が必要です。カメムシ類は雑草の繁茂しているところに集まり繁殖するので、畦畔の草刈りは出穂の2週間前までに終わることが重要です。同時に周辺の休耕田、池の堤や法面等の草刈りをして、カメムシの居場所をなくしましょう。なお、出穂期の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込み逆効果となる場合があるので注意が必要です。多発している場合は、穂揃期頃に防除を行いましょう。

出穂前防除薬剤(例)

* JA水稻栽培暦等を参照してください

・トビイロウンカ、斑点米カメムシ類対応

→ スタークル粒剤(3kg/10a)・トレボン粉剤(4kg/10a)

またはスタークル豆つぶ剤(250g/10a) (いずれも収穫7日前まで、3回以内)

*** あかし農業協同組合からのお知らせ ***

ヘアリーベッチ・れんげ栽培講習会開催

1、日時 平成29年8月31日(木) 13:30~15:00

2、場所 JAあかし本店 (お車で来られる方は、本店農業倉庫の方をお願いします。)

(こちらの講習会につきましては、農会回覧にて参加者を募集しております。)

こちらの稲作気象台情報は、あかし農協のホームページでもご覧いただけます。

<http://www/ja-akashi.or.jp/>

あかし農業協同組合